



# Safe Crop Project News



No.8 2018年1月18日発行

「ベトナム北部地域における安全作物の信頼性向上プロジェクト（2016年～2021年）」は、北部地域2市11省において、「Basic GAP (Good Agricultural Practices)」を始めとする安全作物栽培の技術規範に沿った生産活動、消費者の安全野菜への信頼醸成、及び、多様なサプライ・チェーンの構築を支援することで、対象地域における安全作物栽培の振興を目指します。

## 第2回安全作物ビジネスフォーラム開催



HPAのMai Anh 副代表による開会の挨拶

2017年12月25日に、ベトナム農業トレードセンター（Agritrade）において、ハノイプロモーションエージェンシー（HPA）と共催で、第2回「安全作物ビジネスフォーラム」を開催しました。セミナー、生産者とバイヤーのマッチングに加え、第1回（2017年8月開催）は収穫時期ではなかったため難しかった野菜の展示やパイロット活動の成果を踏まえた優良技術の紹介展示など、盛りだくさんの内容となりました。フォーラムの成果は、次の2つに集約できます。

### ① 安全作物取引における買手の役割への理解促進



グループディスカッションの様子

これまでの安全作物取引の議論では、混載などにおいて流通業者や買手の責任が指摘されていましたが、買手が生産者を支援する役割については、あまり注目されていなかったように思われます。しかし、買手は、生産者に消費者のニーズを伝えたり、安全面の確認を行ったりすることで、作物の品質や安全性向上に大きな役割を果たすことができます。フォーラムでは、このような買手の役割に焦点を当て、日本の事例を紹介するとともに、ベトナムにおける先進的な買い手でイオン様、VinEco様に取り組みの内容を講演していただきました。

### ② より多くのプロジェクト関係者の学びの場として機能

準備不足だった前回の反省を踏まえ、今回はHPAに加え、Central Project Management Unit (CPMU) および Provincial Project Management Unit (PPMU)のメンバーを加えた準備会合を複数回開催し、フォーラムのコンセプトを理解してもらうとともに、実施方法などを打ち合わせました。特に、PPMUには、グループディスカッションのファシリテーター、マッチングの支援、フォローアップをお願いしました。これにより、より多くのプロジェクト関係者にオーナーシップをもって、イベントに参加してもらうことができ、また通常は会うことが難しい様々なステークホルダーから話を聞き、意見交換をすることで、この上ない学びの機会を提供することができたと考えます。



生産者グループとバイヤーのマッチングの様子

マッチングにおいては、具体的な取引の話に発展しそうなケースも出てきています。オペレーショナルには、まだまだ改善の余地がありますが、今後も多くの関係者が一堂に会するからこそできるイベントの形を追求していきたいと考えています。

## 食品安全をめぐる援助協調（その1）

安全作物を含む食品安全はベトナムの人々の関心事であり、ベトナム政府の重要な政策課題の一つとなっており、ベトナムを支援している多くの国や機関にとっても優先度の高い支援分野となっています。この食品安全をめぐる各国・機関の支援の枠組み・動向を2回に分けてご紹介させていただきます。

### 1. The Food Safety Working Group

ベトナムにおける食品安全分野の援助協調の中核となるフォーラムは The Food Safety Working Group（食品安全作業グループ）と呼ばれるものです。これは食品安全を担当している Vu Duc Dam 副首相の要請により、2015年に設立されたものです。現在の構成員としてはベトナム政府側からは、首相府に加え、食品安全を所管している3省（保健省、農業農村開発省、商工省）などの行政機関の他、国立食品管理研究所、国立栄養研究所、国立獣医学研究所などの研究機関が参加しています。支援機関側からは国連食糧農業機関（FAO）、支援機関側の調整機関、世界保健機関（WHO）、国連工業開発機関（UNIDO）などの国連機関、世界銀行（WB）、アジア開発銀行（ADB）などの国際金融機関、国際畜産研究所（ILRI）などの国際研究機関、オーストラリア、カナダ、EU、米国国際開発庁（USAID）、JICA、フランス国際農業開発研究所（CIRAD）などの援助国・機関、VECO（ベルギー系 NGO）などの NGO が参加しています。また、ベトナムの大手食品グループ企業の PAN グループなど、いくつかの民間企業も参加しています。

取り扱う対象は農作物のみならず、畜産物、水産物とその加工品などの食品全般であり、かつ、生産段階から、流通、消費にいたるバリューチェーン全体における食品安全の問題を議論しています。近年世界的にも大きな問題となっている薬剤耐性菌（AMR）の問題も一つのテーマです。

3カ月に1回テーマを設定して会合を持ち、関係者による発表や、情報交換を行うのが主な活動ですが、本ニューズレター第4号の欄外で紹介しました世界銀行が中心になってベトナムの食品安全管理に関する報告書をまとめた際には、本作業グループの

メンバー機関から多くのインプットがなされました。

### 2. 主要な支援国・機関の動向

次に食品安全の中でも、安全作物を扱っている主要な援助国・機関の動向をご紹介します。今回は世界銀行を、次回はそれ以外の国・機関についてご紹介いたします。

#### ① 世界銀行

2009年9月から2014年6月まで資金協力プロジェクトである“Agriculture Competitiveness Project”を実施しました。（世界銀行融資規模：5,980万米ドル）このプロジェクトでは中部地域8省（ラムドン省、ビントゥアン省、ニントゥアン省、ダクラック省、ビンディン省、ザーライ省、ゲアン省、タインホア省）の農家を対象に安全作物生産を含む農業技術の改善、小農とアグリビジネスのパートナーシップの形成、インフラストラクチャーの整備が進められました。対象産物は各省等で異なり、大半は野菜・花卉、果樹、コメ、茶、コーヒーなどの作物でしたが、畜産物や水産物を扱う農家もありました。また、プロジェクトの後半では、メコンデルタの7省（ドンタップ省、アンザン省、キエンザン省、ロンアン省、ティエンザン省、ソックチャン省、カントー省）において GAP を含むコメの生産技術の支援も行われました。そしてこれに引き続くプロジェクトとして2015年12月から2020年12月までの予定で資金協力プロジェクトの“Sustainable Agriculture Transformation Project”を実施中です（融資規模：2億3,800万米ドル）。このプロジェクトでは中部高原5省（ラムドン省、コンツム省、ダクラック省、ザーライ省、ダックノン省）についてはコーヒーを対象に、メコンデルタ8省（前述の7省とハウザン省）についてはコメを対象に GAP を含む農業生産・管理技術（アグリビジネスとのパートナーシップの促進を含む）の改善、収穫後処理技術の改善（コメ）、老木の植え替え（コーヒー）、農業農村開発省や各省の農業農村開発局の提供するサービスの向上等を支援します。

（熊代輝義／チーフアドバイザー）

## 対象グループの紹介

プロジェクト対象グループ紹介の第3回目は、Ha Nam 省の Lien Hiep Farm 社（以下、Hiep 社）です。2015年に設立された新しい会社で、設立当初の栽培面積は1.5haでしたが、規模拡大を続けており現在では5ha、従業員は30名です。「明るい未来のために安全野菜を」をスローガンに、安全野菜の生産を進めています。2017年10月には記録的な大雨によって省内各地で洪水が発生し、Hiep 社の畑も水没してしまいましたが、逆境を乗り越えて活動を続けています。この会社にはユニークな特徴が2点あります。



Hiep 社長。規模拡大、希少野菜生産、直営店運営など様々なアイデアを持って活動しています。

### 特徴1「多様な野菜の販売」:

Hiep 社がターゲットにする顧客は省内の食堂やトレーダーなどです。そのような顧客は、多様な野菜を継続的かつ安定的に購入することを希望しています。そこで Hiep 社は、顧客の要望に応えるため、年間を通じて50品目以上の野菜を生産しています。中にはサボイキャベツ（葉が縮れているキャベツ）のようにベトナム北部ではまだ生産量が少ない希少な野菜も含まれています。一般的な生産者にとって販売先の確保は重要な課題ですが、Hiep

社はこれらの活動が功を奏し、安定して顧客を維持できています。

### 特徴2「直売店の開設」:

Hiep 社は Ha Nam 省 Kim Bang 郡の支援を受けて、同郡の Thi Son 市場内に直売店をオープンさせました。この直売店は同郡の地方開発計画の中に盛り込まれており、安全野菜の販売促進を目的の一つとしています。Thi Son 市場は近くに工業団地があることから、その従業員がターゲットの顧客です。商品は Hiep 社製が中心ですが、他の生産者からも購入しています。2018年1月15日にはオープニング・セレモニーが開催され、社長の Hiep 氏は、「安全野菜振興は重要な課題であるので、他の生産者とも協調して安全野菜の販売に取り組み、店を活性化させたい」と意気込みを表明していました。



安全野菜直売店の様子。約30種類の安全野菜に加え、果物、キノコ、冷凍食品なども取り扱っています。

## 今後の課題：

Hiep 社は規模拡大を進めていることから、安全性確保および安定供給を継続することが重要です。プロジェクトでは安全性確保の継続に向けて、使用可能農薬リスト配布、記帳、残留農薬検

査などの活動を進めています。また安定供給に向けては、接ぎ木、苗生産、堆肥生産の技術を指導しています。これらのプロジェクト活動には社長自らも参加しており、積極的に技術の習得や同社メンバーへの指導を行っています。

本コーナーではこれまで JICA プロジェクトチームのメンバーを紹介してきましたが、今号では、プロジェクトの実施機関である農業農村開発省作物生産局の Tran Xuan Dinh 副局長に、ベトナム安全野菜生産におけるこれまでの JICA 支援と本プロジェクトの意義について寄稿いただきました。

## 安全野菜生産における JICA プロジェクトの貢献

ベトナムにおける安全野菜生産に係る JICA プロジェクトとしては、2013 年に終了した「農産物の生産体制および制度運営能力向上プロジェクト」と、その後継プロジェクトとしてベトナム政府の要請に基づき立案された本プロジェクト「北部地域における安全作物の信頼性向上プロジェクト」があります。

これらは ODA 技術協力プロジェクトとして、生産モデルの確立、先進的な栽培技術の導入、適切、効率的、かつ安全な品種選定と肥料・農薬の使用、作物の品質検査と評価、安全作物（野菜が主な対象）栽培における知識と意識向上を目的とした対象省の技術職員及び農家への研修等が実施されました。また、対象省の幹部を対象とした、安全野菜生産と政策策定に係る研修が、日本、タイ、インドネシアにおいて複数回実施されました。これらの研修を通じて、技術職員や幹部は、市場ニーズに関する理解を深めると共に、各国から学んだ技術に基づく生産計画と組織化について見識を高めることができました。

## Basic GAP

「農産物の生産体制および制度運営能力向上プロジェクト」により、VietGAP から主要なチェックポイントを抽出して簡素化した Basic GAP が策定されました。Basic GAP はベトナムの農家の能力と生産規模に適した工程であり、各地方省において、Basic GAP の導入が拡大されています。また、各国際援助機関も、Basic GAP は実践しやすく、かつ作物の安全性を確保する簡素で効果的なアプローチであると高く評価しています。Basic GAP は生産者の安全基準と意識を底上げするベースとなっており、今後ベトナムにおける安全農産物基準の策定・公布においても、重要な貢献を果たしていく工程であると言えます。

発展を目的に 2016 年 7 月より実施されています。現在実施中の各パイロット省における Basic GAP を導入した安全野菜生産モデルの確立、マーケティング活動、コミュニケーション活動や TOT (Training of Trainers) は、ベトナム北部地域の生産組織化、市場アクセスの改善と安全野菜の流通に貢献しています。市場ニーズに基づき、安全野菜を取扱う企業や流通業者とのリンケージを図りながら生産計画を立案する手法により、プロジェクトの対象グループは効果的に生産モデルの改善を進めています。コミュニケーション活動の一環として、小学生を対象に実施された安全野菜をテーマにしたポスターフェスティバルは市民の関心を広く集め、子ども、両親から教師に至るまで、安全野菜に係る公共意識の向上に結び付きました。

本プロジェクトが実施する実際的な活動と共に、近い将来、ベトナムにおける安全作物生産は確固とした変化と変革を遂げていくと考えられます。生産者と消費者が顔を合わせることで、安全野菜の真の価値が消費者によって認識されるようになり、ひいては、ベトナムにおける安全野菜生産が海外市場における技術と安全基準を満たすことに繋がっていくと考えています。



(Mr. Tran Xuan Dinh/農業農村開発省作物生産局副局長)

## 「北部地域における安全作物の信頼性向上プロジェクト」

本プロジェクトはサプライ・チェーンに沿った安全作物生産の

皆様のご意見・ご感想をお待ちしております

### JICA プロジェクト事務所

住所：Room 201, Department of Crop Production, Ministry of Agriculture and Rural Development,  
2 Ngoc Ha Str., Ba Dinh Dist., Hanoi, Vietnam  
Tel/Fax：+84 24 3244 4373